



たかなし

校訓

「尚志」

「知新」

第24号

令和5年10月 6日

令和5年度前期終了

今週から10月に入りました。校庭の木々や草花は少しずつ赤や黄の色が付き始め、花壇のコスモスも花が風で揺れています。秋らしさを感じる毎日です。

さて、本日、令和5年度の前期の終業式が行われました。前期になって、新学年の学習が始まり、新たに分かったことやできることが増えるとともに、考え方なども身に付けてきました。また、行事を振り返ると、始業式や入学式、運動会、6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習、学習発表会、そして今週のマラソン大会となべっこ、等々。実にたくさんの行事がありました。新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、去年はあまり経験できなかったグループ学習や縦割りグループ活動ができ、学びの幅が広がりました。こうした中で、子どもたちは様々な成長ができたと思います。そして、前期を振り返っての課題は、後期のがんばりにつなげてほしいと思います。

終業式の中で、2人の友達の発表もありました。紹介します。

二年生、前期

二年 さいとう〇〇

前までたのしかったことは、フィールドワークです。一回目はモリボのさとでどうぶつをみてきました。二回目は大まがりえきと図書かんでした。えきでは、こまちが二台はしってきたのをみました。図書かんで、えどじだいのしんぶんや200年前の本をみせてもらいました。ふつうではできない体けんができてうれしかったです。

ぼくたちあおぞら学年ががんばったことは、かけ算やプール、お話をよむことなどいろいろあります。これからも、あおぞら学年は「力をあわせ、きょうカしてみんなでなかよくがんばる2年生」になりたいと思います。



前期のふりかえり

四年 小松〇〇

わたしは前期で勉強を一番がんばりました。とくに算数です。算数の中でも一番がんばったのは、3けた÷2けたの筆算です。3けた÷2けたは、覚えるまでとても時間がかかりました。どうしてかということ、かりの商をたてるのが分からなかったからです。でも、らいこ先生がわかりやすく教えてくれたので、だんだん覚えていきました。そして、もう一つ大切なこともおしえてもらいました。それは計算した後に、わる数とあまりをかくにんすることです。これは、おしえてもらってすぐにもうできるようになりました。かくにんすることで、計算ミスがなくなりました。

後期にがんばりたいことは、一回できいてわからないときは、もう一回きくということです。そして、えがおノートで練習して、一日で教えてもらったことを覚えられたらいいなと思います。算数だけではなく、他のじゅぎょうも同じく、一日で覚えられるようがんばります。

後期の一番の楽しみは、11月のフィールドワークです。ふるさと村でたくさん勉強してきたいと思います。

秋を楽しむ

9月28日のさつまいも掘り、10月4日のマラソン大会・なべっこ、秋の季節に合った行事が続きました。特に、今週のマラソンとなべっこは、気持ちよい天候の中で実施されました。スタート前の緊張している様子や、合図とともに一斉にスタートする姿は、活動に真剣に取り組んでいる証拠だと思いました。自分の目標に向かって、みんながんばっていました。また、なべっこでは、グループのみんなで作るなべをととても楽しみにして、はりきって調理したり火の調節をしたりしていました。高学年の子どもたちがリードしましたが、安全に気を付けながら自分の力で参加する下級生もいました。なべに入れる物がグループによって違っていたので、いろいろな味のなべができていたようです。グループのみんなに分けて、おいしく食べることができました。その後の片付けも、一番大変ななべ洗いは6年生が引き受け、他の学年の子どもも役割をもって行っていました。



おめでとう がんばりました！

○読書通帳

百冊賞 4年 高橋 ○○

○第69回青少年読書感想文

自由読書三席 6年 藤原 ○○ 5年 藤井 ○○ 4年 竹内 ○○

